

学校給食共同調理場 公式 Instagram (インスタグラム) の開設について

令和5年度2学期の新学校給食共同調理場の稼働により本市の学校給食が全て共同調理場からの提供となることを踏まえ、「明星大学との立川活性化プロジェクト」において「学校給食のPR方法」の企画提案を募集したところ、児童・生徒の保護者世代の利用が多く(30代で57%、40代で50%)、ビジュアル性に優れたプラットフォームであるインスタグラムを活用した情報発信について提案を受けた。

内部検討した結果、現在の市ホームページ等での情報発信を強化し、食育の充実等につながる取組みと考えられるため、学校給食共同調理場の公式インスタグラムを開設した。

1 投稿内容 (開設時の想定)

- ① 毎日の給食写真と献立名 (毎日) ※
- ② 手づくり、安全・安心、食物アレルギー対応などの共同調理場の特徴 (不定期)
- ③ レシピ動画 (不定期)

※ 業務の継続性を考慮し、定期的な投稿内容は①のみとする。開設後、共同調理場の運営事業者の協力も得ながら、②・③の投稿に向けて準備・作業を進めていく。

2 開設日

令和4年11月1日

3 運用方法 (一部)

- ・「立川市ソーシャルメディア利用に関するガイドライン」等に準拠した「運用ポリシー」を作成する。(参考)「たらった立川」公式 Instagram (インスタグラム) 運用ポリシー
- ・写真や動画の撮影や投稿作業には、市教育委員会が所有する chromebook を活用する。
- ・事前に詳細な運用方法 (投稿までの流れ、写真の撮り方、投稿時間、投稿文面、投稿前の確認方法等) をまとめて「運用マニュアル」作成し、遵守する。
- ・市民との個別のやり取りが発生するコメント機能やDM機能等は原則利用しない。

4 周知方法

- ・毎月、学校保護者に送付している「給食だより」へのQRコード等の添付
- ・令和4年11月中旬に発送予定の保護者あて案内通知へのQRコード等の添付
- ・教育だより「たち」への掲載 (11月10日号)

5 他市の活用事例 (WEB 調べ)

- ・都内自治体では、学校給食に関するインスタグラムの活用事例はない。
- ・他県自治体では、共同調理場を中心に複数の活用事例がある。
会津若松市 (幼小中学校の給食を3カ所の調理場から提供) フォロワー: 約1,400人
岐阜県多治見市 (幼小中の給食を8カ所の調理場から提供) フォロワー: 約2,300人